

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:45
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日11月20日（日）

今月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。子どもは地域でも育ちます。家庭や地域が中心となって、公園やお店の周囲で気になる子ども達を見かけたら、積極的に声をかけましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

地域の熱い思いを受けて

千曲市校長会 更級小学校 児玉淳子

「子どもたちは、更級の宝です」
学校に来校される地域の方々から、この言葉をたびたびうかがいます。子どもたちへ、学校への大きな期待を感じます。

四月第二日曜日、「更級安全確認隊」の会がありました。朝一番に親子で一緒に歩いて登校、体育館で安全パトロールの皆さんの紹介、さらに交通安全教室という盛りだくさんの内容です。ほとんどのご家庭が参加され、毎朝我が子が歩いている道を、親子が手を繋いで登校していました。実際に、重いランドセルを背負う我が子と一緒に歩いて、親御さんは、その長い道のりや危険性・安全性などを実感します。お父さん方が多く参加しているのが印象的でした。また、毎日お世話になっている安全隊の皆さんと顔を合わせ、直接お礼を申し上げる機会でもありました。その後は、交通ルールを守る大切さ等を学ぶ交通安全教室です。これも、親子で参加することで、各ご家庭の団欒の中で自然に、安全な登下校、交通ルール、そして学校のことが話題になるでしょう。この会は、学校主催でなく「地域の主催」なのです。更級地域の愛と心意気を感じました。

この会は、四月末の「子どもの安全を守る総会」につながります。一緒に歩いて気づき、指摘された危険箇所等について、改めて確認し、地区ごとに改善のための話し合いが持たれます。議員さん、区長さん方、安協の方々、おやじの会の方々等のベテランの皆さんと、若いお父さんお母さん方が、子どもたちのために、時間を超過して、情報交換したり改善策を話し合ったりする姿がありました。これが『更級の力』だと思いました。

また、更級地区では、千曲市で最も早くコミュニティスクールを立ち上げ、活動内容は年々深く幅広くなっています。更級の熱い期待を受け、子どもたちは、未来に向けて、自信を持って大きく羽ばたいてほしいと願っています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 大人が変われば子どもも変わる —

～ 10月の育成センター会議より～

10月26日に、育成センター会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

- 1 11月の「子ども・若者育成支援強調月間」及び「有害環境浄化活動強化月間」の取り組み
～合言葉「大人が変われば」
 - ・補導委員が各店舗を伺い、健全育成への協力と有害環境についてのチェック活動を行う。
 - ・「有害自動販売機NO宣言」のチラシを全戸に回覧し、市民の意識高揚を図る。
 - ② 街頭啓発活動の実施 11月1日（火）午前7時～ しのの鉄道屋代駅前
 - ③ 長野県青少年健全育成県民大会（飯山市）11月12日（土）
- 2 9・10月の補導活動を振り返って
 - 3 11・12月の補導日程について
 - ・11月：上旬 「定例巡回」、「図書等取扱店舗」「カラオケボックス」「ネットカフェ」等の巡回
下旬 環境チェック活動（店舗巡回）
 - ・12月：定例巡回、大頭祭特別巡回（12日・13日・14日）



補導日誌から



目立つマナーの悪さ

9月 6日（火） 5:00pm～7:00

小船山公園に、酒、タバコ、食物に関わったゴミが多数落ちていました。女子トイレにはゴミや毛ぞめの容器が落ちていました。トイレの網戸がグラウンドに落ちていたので、近所の人が元のトイレの場所へ戻してくれたとのこと。マナーの悪い大人の姿が目立ちますが、善意の皆さんのおかげで公園が維持されています。

ポケモンGO人気は下火？

9月 7日（水） 5:00pm～7:00

屋代駅には放置自転車が4台ありました。ギャラリー職員の話では、「数日前、ギャラリー内で中学生男子が着替えをしていたので注意すると、素直に帰っていった。それ以外は、中高生がみだりにギャラリーに立ち入ることはなくなっている。」とのこと。高校生がスマホに触れていたため声をかけると、最近問題になっている「ポケモンGO」は、やらない人が増えたと話していました。

誰も責任をとらないご時世の一端

9月 7日（水） 5:00pm～7:00

ふれあい公園は、トイレはきれいでしたが、園内にタバコの吸い殻が相当数捨てられていました。最近イベントがあったらしく、大人のマナーが非常に悪いと思いました。定例の巡回補導時には、ゴミばさみが用意されており助かります。補導委員は補導が主な仕事ですが、清掃員と間違われる程の姿でゴミ拾いもしました。この活動の様子は子ども達も見ていました。即効薬ではありませんが、このような環境美化の活動が子ども達の非行防止につながるものと感じました。

さわやかな空気をふりまいて

9月 27日（火） 4:00pm～6:00

戸倉上山田中学校は現在改築中のため、戸倉体育館など校外で部活を行っています。部活が終わって一度学校へ帰る生徒さんの自転車集団と行き会いました。一列の集団で走ってきました。そして、すれ

違いざまに「こんにちは」・「こんにちは」・「こんにちは」…、とさわやかな挨拶が。この生徒さん達は、部活で校外へ出て行き会うすべての人達に「こんにちは」を送ってくれているのでしょう。

未成年者の喫煙 …警察との連携

9月30日(金) 4:00pm~6:00

駅前交番にて、警察官から「A駐車場で、高校生がタバコを吸っていることがある」とお聞きしたので、その駐車場へ警察官と一緒にパトロールをしました。現場にはタバコの吸い殻が8本ありました。今日は高校生の姿は見えませんでした。一部高校生の喫煙所となっているようです。今後も引き続きパトロールが必要です。発見したら、駅前交番へ通報してください。

未成年者の喫煙 …後ろめたさ

10月5日(水) 4:00pm~6:00

戸倉駅の駅舎を出た左側で、男子高校生がタバコを吸っていました。私達が近づく前に、青パトに気づいた様子です。すぐ自転車で帰って行ってしまったので、声かけができませんでした。その子がなぜ自分が青パトを見て逃げるような行動を取ったか、後ろめたさを感じた自分を見つめ直してくれればと思います。

心配している方がいて

10月3日(月) 4:00pm~6:00

稲荷山公園では小学校3年生が2人、1年生が1人、保育園児2人と大人が2人で遊んでいました。年配の方に日頃の様子をお伺いすると、「お菓子を食べ散らかしたまま帰ってしまう子どもさんが時々います。家ではどんな躰をしているのでしょうか。」と心配されていました。その方は、家が公園に近いのでいつも不審者がいないか気をつけているそうです。夕方薄暗くなると来園する人がいるらしいのです。

皆さんのおかげです

10月5日(水) 4:00pm~6:00

キティーパーク、戸倉駅、上山田中央公園などを巡回しました、この3カ所では、トイレのチェックも行いました。どの場所もタバコの吸い殻などなく、どのトイレもきれいに清掃されていました。地域の皆さんや駅員さんのおかげです。

編集室の窓

損得ぬきで動く子ども

射水市の子ども達との交流として、9月中旬に「山の生活体験交流会」がありました。その中で、「くつをそろえる女の子」の話が心に残りました。女の子だからきちんとしているという話ではありません。…女の子達の部屋の前も、自分達のくつが散らかっていたそうです。そんな中、ある部屋の女の子が自分たちの部屋のくつの乱雑さに気づき、くつをそろえ始めました。その子たちは、トイレに行ってもスリッパをきちんとそろえていたそうです。きっと、そうすることの心地よさを感じていたのでしょう。

「くつをそろえると心もそろろう」…生活指導の基本として全校上げて取り組んでいる学校が多く、各校下駄箱のくつはほとんどがそろっています。全校のくつが子ども達自身でそろう学校は、「気づいたら動く」気働きのできる子ども達が増えていきます。きちんとそろえると気持ちがいい、きちんとそろっていると気持ちがいい…気づいたら損得ぬきですと動いてしまう子どもになっていきます。くつをそろえるという単純な動き、その積み重ね…いつの間にか「気働き」という貴重な能力が育っています。



子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

理学療法士になる

3年6組 佐藤彩音

“理学療法士になる”これが私の夢です。理学療法士とは、主にリハビリをしてくれる人のことです。具体的には、けがや障害のある人の日常生活において、座る、立つ、歩くなど基本動作の回復・維持に努め、自立した日常生活が送れるように支援するという仕事です。

私がこの仕事に就こうと思ったのは、部活動でのけががきっかけでした。私は中学2年の秋に右膝前十字靭帯と半月版を損傷し、3年生の夏休みに手術をしました。手術後からリハビリが始まりました。「リハビリは辛い」とよく聞いたことがあります。全然そんなことはなく、むしろ入院生活の中でちょっとした楽しみになっていました。しばらく入院生活をしていく中で、少しずつ「リハビリの仕事って楽しそうだな」と感じていきました。リハビリの先生に「この仕事楽しいですか？」と聞いたら、「すごく楽しいよ。仕事しながらこうやって患者さんと会話ができるってなかなかないしね」と言っていました。両親が福祉関係の仕事に就いていることもあり、私はもともと福祉の仕事に興味がありました。けがをしたことにより理学療法士という仕事を知ることができ、リハビリを受けた自分の経験から、いつしか私も人を支えられるような仕事に就きたいと思うようになりました。

“人を支えられる仕事”として私が一番頭に浮かんだのは、やはりお世話になった理学療法士という仕事でした。もしけがをしていなかったら、私がこの仕事を知ること目指すこともなかったのかもしれませんが、きっかけは思いもよらないところからくるのだと感じました。けがをしたこと自体はマイナスでしたが、それにより夢が決まったので、結果的に自分の中ではプラスになったと思います。

この夢を実現するために、今私が力を入れていることは苦手な教科の理科・社会を克服することです。特に理科は、理学療法士にとってとても大事な教科です。人体の仕組みを理解していないと、この仕事ができません。大切な上、苦手でもあるのもっと努力しなくては夢の実現は不可能です。ですから、まずは志願校合格を目指して努力し、その後は高校での勉強にも励むことが必要です。専門学校や短大では、必修の単位も数多くあります。そして理学療法士は、国家試験に合格し国家資格を取得しなければなりません。この仕事は国家試験を受けられるようになるまでの道のりが簡単ではありません。

こうして考えると、かなり難しい仕事だということがわかります。今現在の努力を惜しまず、夢の実現に励んでいこうと思います。夢を夢で終わらせない。将来の自分が後悔しないように今を生きていきたいです。



【職場体験で】